

ドローンによる太陽光パネル

点検作業レポート

鹿児島の太陽光パネル

発電所より依頼

今回のクライアントは、昨年10月、下関の太陽光パネルの点検をドローンXに依頼してくれた元

請けで、その結果が想像以上だった為、自社所持の鹿児島の太陽光パネル発電所を点検して欲しいと依頼となつた。



発電量の低下は把握済
問題はどのパネルか?
「管理P.C.で確認したら
発電量が落ちていた為、

いくつかのパネルに故障があるのは分かつていて。」

とクライアント。ただ、

パネル枚数が9000枚

ある為、既存の1枚づつ

確認する点検では1週間かかる。その為、「どれ

だけ・どこの」パネルが悪いのかドローンで大まかに点検出来ればその後の作業時間が短縮出来る。

赤い部分が赤外線で温度が高く発電性能に不具合が起きている可能性が高い。←

RTK+赤外線カメラ・
Zenmuse H20T
を使用機材として用い、
カメラ操縦と機体操縦2人
で撮影しました。作業時間は約1時間で終了した。

マトリス300RTK
Matrixe300
R TK+赤外線カメラ・
Zenmuse H20T
を使用機材として用い、
カメラ操縦と機体操縦2人
で撮影しました。作業時間は約1時間で終了した。



品質」「時間」「コスト」

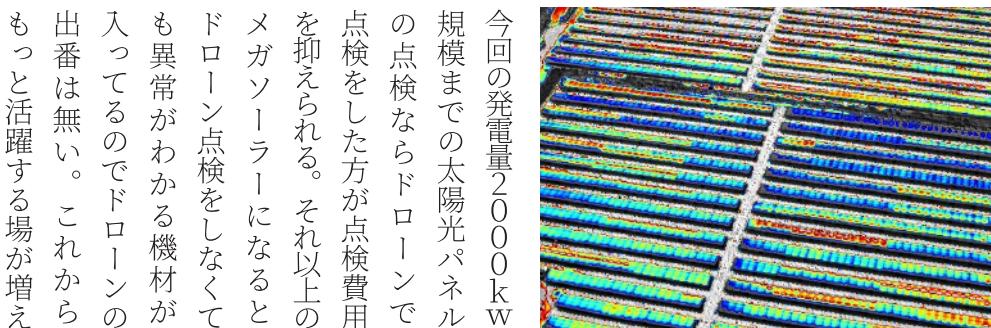
クライアントの声

クライアントより①以前

の業者より画像が鮮明に見えた②故障パネルが多くて修理が大変③前回の

点検よりも短時間になり驚いた。との声を頂いた。
また費用に関しても、出張費も加算された為、割

にしてくれる②ドローンの性能が県内のドローン納品（映像）がキレイだとの声ももらつた。



高に感じましたが①赤外線診断師がカメラ設定をして適切で見やすい画像にしてくれる②ドローンの性能が県内のドローン点検業者より良いので納品（映像）がキレイだとの声ももらつた。

マトリス300RTK

風船を飛ばす小学生をドローンが大空から撮影

小学生のイベントにドローン撮影として

山口県下関市立幸賀小学校

（児童29人）の児童が創立150周年を記念し

て風船を飛ばした。風船

は先月28日、運動会で児童らが飛ばした。「遠く

へ届け！150周年うか

バルーン」とのメッセージ

と学校のホームページ

へつながるQRコードを

印刷した紙をひもに

結び、約200個を放つ

今回の発電量2000kW

規模までの太陽光パネルの点検ならドローンで

点検をした方が点検費用を抑えられる。それ以上のメガソーラーになると

ドローン点検をしなくても異常がわかる機材が入つてるのでドローンの出番は無い。これからもっと活躍する場が増え

るはず。



た。反応が寄せられたのは3日後の31日、瀬戸内海を越えて約170キロ離れた愛媛県松山市内のタマネギ畑で見つかった。今回、ドローンXは、ドローン操縦技術受講生からの相談を受け、協力して撮影を行った。主催の方をはじめ、先生方や地域の方達に映像をお見せすると、とても喜ばれました。風船と共に大空に飛び立つドローンに夢見て。